

川西市空家等対策協議会の会議公開に係る傍聴要領（案）

（趣旨）

第 1 条 この要領は、川西市空家等対策協議会（以下「協議会」という。）の会議（以下「会議」という。）の傍聴に関し必要な事項を定めるものとする。

（傍聴手続等）

第 2 条 会議を傍聴しようとする者（以下「傍聴人」という。）の定員は、10 人とする。

ただし、必要と認めるときは、これを変更することができる。

2 傍聴の受付は、会場で会議開催の概ね 30 分前から先着順に行う。ただし、受付開始時に定員を超える希望者があるときは、抽選等により傍聴人を決定するものとする。

3 会議の傍聴を認める場合においては、傍聴人に会議の議題を記載した会議次第及び必要に応じて会議資料等を配布するものとする。

（傍聴できない者）

第 3 条 次の各号のいずれかに該当するものは、傍聴することができない。

- (1) 銃器その他危険な物を持っている者
- (2) 酒気を帯びていると認められる者
- (3) 異様な服装をしている者
- (4) はり紙、ピラ、掲示板、プラカード、旗、のぼりの類を持っている者
- (5) 笛、ラッパ、太鼓その他楽器の類を持っている者
- (6) 前各号に定める者のほか、議事を妨害し、又は人に迷惑を及ぼすと認められる物を持っている者

（傍聴人の守るべき事項）

第 4 条 傍聴人は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 静粛を旨とし、会議における言論に対して拍手その他の方法により、公然と可否を表明しないこと。
- (2) 談論し、放歌し、高笑しその他騒ぎ立てないこと。
- (3) はち巻、たすきの類をする等示威的な行為をしないこと。
- (4) 飲食をしないこと。
- (5) みだりに席を離れ又は不体裁な行為をしないこと。
- (6) 前各号に定めるもののほか、会議の秩序を乱し、又は妨害となるような行為はしないこと。

(撮影、録音等の禁止)

第 5 条 傍聴人は、写真、映画等を撮影し、又は録音等をしてはならない。ただし、特に市長の許可を得た者は、この限りでない。

(傍聴人の退場)

第 6 条 傍聴人は、傍聴を認めない旨の決定がなされたときは、速やかに退場しなければならない。

(係員の指示)

第 7 条 傍聴人は、すべて係員の指示に従わなければならない。

(違反に対する措置)

第 8 条 傍聴人がこの要領に違反するときは、協議会の会長はこれを制止し、その命令に従わないときは、これを退場させることができる。

付 則

この要領は、平成 29 年 5 月 29 日から施行し、同日以後に開催する会議について適用する。